



概要版

# 第五次箕面市総合計画

～総合計画が描く都市イメージ～



第五次箕面市総合計画では、「ひとが元気 まちが元気 やまが元気」な「箕面のあした」をみんなで作っていくことをめざしています。この将来都市像を実現するためには、箕面の魅力アップをはかることにより、若い世代の流入と住民の定着を促し、さらに地域資源の増加へとつなげていく好循環（スパイラルアップ）を生み出すことが必要です。

都市イメージでは、第五次箕面市総合計画を推進することによって、めざすべき将来都市像に向かっていきいきとした発展を遂げていくこれから10年間の箕面の姿を描くとともに、その先にある未来の箕面へ向けた歩みを映し出していきます。

## 箕面の魅力アップ

多くの人々にとって、箕面の最大の魅力は、北部に連なるあざやかな山なみ景観やまちなかの樹木や田園といったみどりの豊かさにあります。このような優れた環境は、箕面だけでなく市域を越えた大阪のみどりとして、ますます貴重な財産となっています。この豊かなみどりを守り育てるため、多くの市民・団体が行政やみどりの所有者と協働して活発に活動し、**みどりがあふれる住宅都市**として魅力をさらに高めていきます。

また、箕面の次世代を担う子どもたちや若者世代をはぐくむため、保育所の待機児童を解消するとともに、地域住民どうしでの子育て支援を活性化します。学校やコミュニティセンターなどのさまざまな公共施設が「子育ての場」として提供され、子育てサークルなどの市民活動団体による多彩なイベントが開催されます。学校やさまざまな団体、地域が連携することで、親子と高齢者など世代間の交流も進み、子どもたちが健やかに成長でき、子どもたちの笑顔と歓声にあふれる**子育てしやすく教育環境の整った都市**となります。

さらには、地域住民の暮らしやすさや働きやすさを一層向上させ、都市骨格の背骨となる鉄軌道「北大阪急行線の延伸」が実現します。これは大阪の大動脈である地下鉄御堂筋線と直結することで、かやの中央地区（箕面新都心）や船場地区から大阪都心部まで乗り換えなしのアクセスが可能となり、利便性が大きく向上します。また、鉄道の延伸によりバスと鉄道の結節点を市内に移し、東西のバス路線網を大幅に充実させることで、**自動車に依存しない公共交通機関が便利な都市**が実現します。

このように、今後10年の間に、豊かなみどりを守り育てるとともに、より子育てがしやすく、そして交通機関が便利になっていくことで、箕面の魅力アップが進んでいきます。



# 若い世代の流入と 住民の定着

箕面の魅力アップが実現すると、若い世代の流入と住民の定着が進みます。

鉄道の延伸により、みどり豊かな環境を備えた良好な住宅都市としての価値がさらに高まっていくとともに、バス路線網の充実と併せて市内外への通勤・通学・買い物などの利便性が向上することで、**働く世代や学ぶ世代が暮らしやすい都市**として、若い世代を中心に人々の流入を促します。

さらに、公共交通機関の利便性が向上することで、定住人口を増加させるだけでなく、市外からより多くの買い物客や観光客を呼び込むことにより、観光・商業が活性化し、若い世代のみにとどまらず**さまざまな人々の間で交流が生まれる活力あるにぎやかな都市**へと発展していきます。

鉄道の延伸は、バスと電車の乗り換えの充実やバリアフリー化により、高齢者や障害者をはじめとするすべての市民の移動しやすさを向上させます。ま



た、自動車による道路混雑を緩和することにより、二酸化炭素の削減を可能とします。このように、**人と環境にやさしい都市**をつかっていくことで、住民の安心な暮らしを支えていきます。

また、市内には多くの留学生や外国人が暮らしています。言葉の壁の解消や相談支援活動などを進めることにより、新たなビジネスや研究に携わる諸外国の人々との交流が生まれ、**魅力ある多文化共生の都市**としてさらなる国際化が進展します。

こうしたまちづくりを進めることにより、若い世代をはじめとして人々の流入が促され、まちに定着していくことで、箕面の地域資源の増加へとつながっていきます。

# 地域資源の増加

箕面の魅力アップが実現し、若い世代の流入と住民の定着が進むことで、まちが大きく発展していくとともに、「ひと・もの・かね・情報・ノウハウ」といった地域資源が増加していきます。

このように新たに生まれてくる地域資源とこれまで箕面が培ってきた豊かな地域資源を組み合わせ、活用していくことにより、めざすべき**「箕面のあした」**の実現に近づいていきます。

これから新たに生まれる地域資源として、箕面森町（水と緑の健康都市）や彩都（国際文化公園都市）において新たな住民の流入と定着が進むとともに、箕面の最大の観光資源である箕面大滝と滝道の魅力をさらに高めるための箕面駅周辺の整備や、地域商業の再生とにぎわいの創出をはかるための桜井駅前整備により、まちの姿は大きく変わっていきます。



また、これから10年の間に、まちを支える新たな交通体系として北大阪急行線の延伸や新名神高速道路の開通が実現し、まちの整備との相乗効果によって、箕面のまち全体の価値を底上げしていくことで、**地域資源を守り育て、さらに生み出していく都市**となっていきます。



# めざすべき「箕面のあした」に向けて

「箕面の魅力アップ」から「若い世代の流入と住民の定着」、そして「地域資源の増加」へという好循環（スパイラルアップ）を生み出し、めざすべき「箕面のあした」を実現するためには、自助・共助・公助の考え方を基本として、行政はもとより、市民、市民活動団体、事業者などすべての主体がまちづくりの担い手として参加・参画する「協働によるまちづくり」を進めていくことが重要です。

また、行政は、厳しい財政状況から脱するため、不断の行財政改革を着実に進める一方で、未来の箕面の姿を市民や市民活動団体、事業者などと共有し、そのために必要な施策を迅速かつ柔軟に展開します。

第五次箕面市総合計画を推進することにより実現

していく10年後の「箕面のあした」と、その先にある“夢と希望にあふれた未来の箕面”をめざして、**21世紀型の持続可能な都市**をみんなでつくっていくことが求められています。



## 夢と希望にあふれた未来の箕面へ



経済環境が一層厳しくなり、社会情勢が激しく変化していく中、みんなで“夢と希望にあふれた未来の箕面”を紡いでいくことは、これまで築いてきたまちの豊かさをより高め、次の世代へとそれを引き継いでいくための大切な営みです。

箕面には、夢と希望を実現するための環境や地域資源、人々や組織の活力があふれています。

第五次箕面市総合計画は、それら一つ一つの輝きと、めざすべき「箕面のあした」へ、そして“夢と希望にあふれた未来の箕面”へと向かうための道筋を描いています。

平成23年度から平成32年度までの10年間を計画期間とする第五次箕面市総合計画は、基本構想と前期基本計画の2部構成になっています。この概要版では、基本構想の「総合計画が描く都市イメージ」全文をご紹介します。

箕面にかかわる一人ひとりが手を取り合い、元気あふれる、魅力いっぱいの箕面を創っていきましょう。

総合計画はここで読めます！

- ・行政資料コーナー ・各市立図書館 ・市ホームページ
- 行政資料コーナー、及び各市立図書館には、点字、音声版もあります。

※行政資料コーナーでは、冊子の販売（基本構想700円、前期基本計画1500円）もしています

☎箕面市総務部財政経営課 ☎724・6708 ☎723・2096

<http://www.city.minoh.lg.jp/soukei/index.html>